

理念・目的とアドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

<麻布大学>

麻布大学の目的

麻布大学は獣医学、畜産学、獣医保健看護学、動物応用科学、生命科学及び環境科学に関する専門の学術を教授研究し、その応用能力の展開をはかるとともに、人格の完成につとめ、進んで学術の進歩と人類の生活向上に寄与し、平和社会の建設に貢献することを目的とする。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

麻布大学では「学理の討究と誠実なる実践」を建学の精神とし、大学の教育の目的を、獣医学、畜産学、獣医保健看護学、動物応用科学、生命科学及び環境科学に関する専門の学術を教授研究し、その応用能力の展開をはかるとともに、人格の完成につとめ、進んで学術の進歩と人類の生活向上に寄与し、平和社会の建設に貢献することとしている。この目的を達成するために、獣医学部と生命・環境科学部を設置し、そこでは教育理念として「地球共生系『人と動物と環境の共生をめざして』」を掲げて教育研究を実施している。両学部ともに、本学の建学の精神をよく理解し、教育の目的、教育理念に賛同し、明確な目的意識を持ち、主体性をもって多様な人々と協働した学びや自己の成長への強い意欲に溢れ、能動的に貢献する姿勢を持ち、また大学教育を受けるに十分な基礎学力を有する学生を求めている。

<獣医学部>

獣医学部の理念・目的

獣医学部は、幅広い獣医学、獣医保健看護学及び動物応用科学教育を行い、生命と福祉に関わる科学者としての責任感に基づいて、社会的使命を正しく遂行し得る獣医師、愛玩動物看護師及び動物応用科学の専門家を育成するとの理念に基づき、社会より与えられた責任に対して応えられ、かつ、国際的視野を持つことができる人材を養成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

獣医学部の理念・目的を達成するために、次のような資質を持つ人材を求めている。

- (1) 人や動物に対する思いやりの心を持ち、主体性をもって多様な人々と協働し、能動的に社会に貢献する意志を持っている人
- (2) 学習意欲が旺盛で、高等学校までの基礎学力、特に生物・化学を含む理科の学力が十分に備わっている人
- (3) 自ら課題を課し解決できる能力、考える力、判断する力、表現する力が備わっている人

獣医学科の目的

獣医学科は、獣医師としての科学的思考力と応用能力を展開させ、生命と福祉に関わる科学者としての社会的使命を遂行できる能力及び動物の生理や病態、疾病の処置とその予防並びにヒトと動物の感染症、動物性食品衛生及び環境衛生に関する科学的知識と技術を併せ持つ人材を養成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

本学科の教育は、獣医師として高い倫理観を有し、高度な専門知識・技術を身に付けて社会に貢献できる人材を養成することを目的としているため、次のような人物を求める。

- (1) 人や動物、自然が好きな人
- (2) 獣医学に強い関心を持ち、獣医師となることについて明確な目的意識を持つ人
- (3) 獣医師になるための情熱及び他者への思いやりと奉仕の心、高い倫理観を持つ人

獣医保健看護学科の目的

獣医保健看護学科は、愛玩動物看護師として、獣医療、動物愛護及び適正飼養など、ヒトと動物の健康と福祉、QOL (Quality of Life) の向上にかかわる分野の科学的根拠に基づいた貢献ができ、さらにヒトと動物の生命と福祉及び未来の共生社会に対して社会的使命を遂行できる能力を持つ人材を養成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

本学科の教育は、愛玩動物看護師として高い倫理観を有し、獣医保健看護学におけるリテラシーとコンピテンシーを兼ね備えることでヒトと動物の共生社会に貢献できる人材を養成することを目的にしているため、次のような人物を求める。

- (1) 人や動物、自然が好きな人
- (2) 動物看護学の基礎となる獣医学と動物科学に強い関心を持ち、愛玩動物看護師となることについて明確な目的意識を持つ人
- (3) 愛玩動物看護師になるための情熱及び他者への思いやりと奉仕の心、高い倫理観を持つ人

動物応用科学科の目的

動物応用科学科は、動物に関わる生命科学を基盤として、人と動物のより良い関係を学び、人と動物の共生を目指して、遺伝子レベルから生態系レベルに至る動物の保有する諸機能を人間生活に安全かつ効果的に活用するための知識と技術を教授し、人と動物に関わる諸分野で活躍できる専門技術を備えた人材を養成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

本学科の目的を理解し、自ら学ぶ姿勢を持ち、本学での学習を通して、主体性を持って多様な人々と協働し、人と動物と社会の接点で社会に貢献できる実践的ジェネラリストとしての能力を身に付け、動物応用科学の諸領域で能動的に貢献する強い意志と意欲を持った人物を募集する。中でも次のような人物を求めている。

- (1) 問題意識を持ちチャレンジ精神が旺盛である人
- (2) リーダーシップと協調性を有する人
- (3) 動物応用科学の諸領域に主体的に興味を持ち続ける意欲のある人

上記の人物を求めるため、一般入試・大学入学共通テスト利用入試を行う。また、思考力・判断力・表現力等の能力、さらに協調性、主体性を持つ人物を選考するため、総合型選抜入試、推薦入試を行う。

<生命・環境科学部>**生命・環境科学部の理念・目的**

生命・環境科学部は、生命科学及び環境科学の立場から、健全な生命を育むための教育研究を展開し、もって、人の健康の維持増進や環境の安全・保全に関わる専門性の高い技術者や環境問題に対応できる人材を育成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

生命・環境科学部は、「生命科学及び環境科学の立場から、健全な生命を育むための教育研究を展開し、もって、人の健康の維持増進や環境の安全・保全に関わる専門性の高い技術者や環境問題に対応できる人材を育成すること」を目的とする。

この目的が達成されるために、次のような資質を持つ人材を求めている。

- (1) 基礎学力を有し、生命科学及び環境科学の学びを通して、自ら課題を見出し、その課題解決のため必要とする知識・技術を習得しようとする学習意欲を持ち、主体性をもって多様な人々と協働する意欲と積極性及び創造性を持っている人
- (2) 高度な専門知識をもって、能動的に社会に貢献することに強い意識を持っている人

臨床検査技術学科の目的

臨床検査技術学科は、基礎学力の充実を図り、臨床検査に関する専門知識及び技術を習得し、更に高い倫理観を有し、高齢者・障害者医療にも対応可能で、感染症対策、栄養サポート、糖尿病療養指導などのチーム医療を実践する一員としてふさわしい高い能力を有する臨床検査技師の養成を目的とする。

アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

日々進歩を遂げている臨床検査医学にあって、命の尊厳を尊重し、臨床検査技師として他の医療従事者と協働しチーム医療の中で活躍できる人を育成するために、次のような人材を求めている。

- (1) 臨床検査技師として医療分野で活躍したい人
- (2) 臨床検査により得られた情報と疾患との関連に興味を持てる人
- (3) 医療の高度化に伴う専門知識と技術を積極的に習得する意欲のある人
- (4) 臨床検査学を身につけるために必要な基礎学力(特に生物と化学)を有する人

食品生命科学の目的

食品生命科学は、健康な社会を維持・発展させるために、人の公衆衛生及び保健衛生学を基礎として食品科学・栄養学及び衛生学を学び、食の安全・安心に関わるリスク評価と食品の機能性に関わる専門性の高い食品衛生、食品科学及び公衆衛生分野で活躍する幅広い職業人の養成を目的とする。

アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

食品生命科学では、生命・環境科学部の理念・目的に基づき、幅広く深い教養とともに、食の安全・安心に関わるリスク評価と食品の機能性に関する専門性を持つ人材をICTを活用して育成することを目的とする。この目的が達成されるため、次のような資質を持つ人材を求めている。

- (1) 食品生命科学についての専門的知識を学ぶために、高校までの基礎学力(特に、生物、化学、英語、など)を有する人(知識・理解)
- (2) 食の安全・安心と人の健康に関わる問題の解決に科学的に強い興味を持ち、論理的な判断を行うことができる人(倫理観、思考・判断)
- (3) 食品生命科学に関わる問題を解決するための検証実験や調査に主体的・自律的に取り組むことができる人(自律性、関心・意欲)
- (4) 主体性を持って多様な人々と協働し、能動的に地域や社会における食の安全・安心と食の健康に関わる問題を身につけた知識やプレゼンテーション・コミュニケーション能力をこれらの解決に役立てたいと考えている人(多様性、理解、態度)(技能・表現)

環境科学の目的

環境科学は、環境を保全し健全な社会を持続的に発展させるために、環境衛生学、環境分析学、環境評価学及び環境保全学を学び、環境問題を正確に把握し対応できる能力を身に付け、これまでに集積された科学技術を有効に活用し、環境保全や社会の持続的発展に貢献できる人材の養成を目的とする。

アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

健康な環境の創成を目標に、様々な環境の問題を発見し、その問題を解決することに粘り強く取り組める人材を育成するために、次のような人を求めている。

- (1) 化学、生物、英語などの基礎学力を有している人
- (2) 環境保全や環境問題に強い関心がある人
- (3) 環境科学やその対策技術について学習意欲がある人
- (4) 環境科学の教育理念、教育方針、教育内容等を理解し、環境保全や環境問題解決に貢献する強い意欲を持っている人

出願・受験に関する主な注意事項

1. 出願書類について

- (1) 出願書類は、各試験区分の「出願書類・出願方法」の記載事項を確認し、必ず郵送してください。
- (2) 出願書類に不備がある場合は、出願を受理できません。
- (3) 出願書類の受理証明書等は、発行いたしません。
- (4) いったん受理した出願書類は、いかなる場合においても返却いたしません。
- (5) 出願後の志願内容の変更は、一切認めません。

2. 試験会場について

- (1) 出願時に選択した試験会場以外での受験は、認めません。
- (2) 試験会場の場所及び会場までの交通手段等は、前日までに必ず確認してください。ただし、試験会場内の下見は、できません。
なお、試験会場の詳細は、P.66～P.67の試験会場案内を確認してください。
- (3) 試験会場及び周辺には、駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください(島根試験会場除く)。

3. 受験上の注意について

- (1) 試験当日は、各自で印刷した受験票を必ずお持ちください。
- (2) 試験会場に示された所定の試験室に、試験開始時刻の20分前までに入室してください。
- (3) 試験室には、試験開始時刻の1時間前に入室できます。(本学試験会場のみ控室があります。控室には、試験開始時刻の2時間前から入室できます。)
- (4) 試験開始時刻に遅れた場合は、試験開始時刻から30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- (5) 試験時間中に机の上に置けるものは、受験票、黒鉛筆(HB推奨)、鉛筆キャップ、メモ用のシャープペンシル、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類は不可)、時計(時刻表示機能のものに限る)、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋から中身だけ取り出したもの)です。
- (6) 携帯電話等の通信機器は、試験開始前に電源を切りカバン等にしまってください。
- (7) 試験場内では、試験監督者の指示に従ってください。
- (8) 不正行為が確認された場合、試験実施前は、受験資格を失い、試験実施後は、当該年度における本学の全ての入学試験結果を無効とします。
- (9) その他の注意事項
 - ① 試験当日は、交通機関の混雑が予想されますので、時間に余裕をもってお越しください。
 - ② 試験会場までの交通手段は、公共交通機関を利用してください(島根試験会場を除く)。
 - ③ 昼食は、各自で用意してください。
 - ④ 本学又は最寄り駅周辺において、有料で合否連絡を行うという業者等は、本学と一切関係ありませんので、十分に注意してください。万一トラブルが生じても責任は負いかねます。
- (10) 受験上の配慮について
病気・負傷や障がい等のために受験上の配慮を必要とする方は、出願前に、本学 入試広報課に御相談ください。御相談いただいた後、受験上の配慮を申請する場合は、申請書類を提出していただきます。